

展覧会のご案内 令和6年度企画展「戦いと伝承」

文永11(1274)年と弘安4(1281)年、大陸から元が北部九州を攻め、元軍と九州の御家人を中心とする幕府軍との間で激しい戦いが行われました。この二度の戦い(文永の役・弘安の役)を「元寇」といいます。今年には文永の役から750年にあたり、節目の年に武士をテーマとした企画展を開催します。

また、武雄市内には、国重要無形民俗文化財に指定されている「武雄の荒踊あらおどり」があります。その起源は諸説ありますが、武士にゆかりのある民俗芸能「武雄の荒踊」も紹介します。

会場 武雄市図書館・歴史資料館 蘭学・企画展示室 観覧料 無料

会期 11月16日(土)～12月15日(日)

開館時間 日曜日～木曜日：9時～17時
金曜日・土曜日：9時～18時 ※会期中無休

Gallery Talk

学芸員による
展示解説



11月23日(土・祝)

12月7日(土)

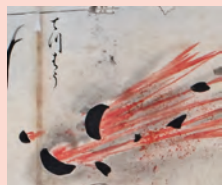
14:00～

展示資料のご紹介



蒙古襲来絵詞模本
(松浦史料博物館蔵)

「蒙古襲来絵詞」は肥後国の御家人・竹崎季長が文永・弘安の役での自身の活躍を描かせせた絵巻

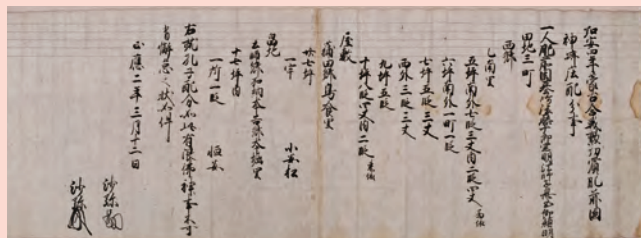


▲「てつほう」部分拡大

です。鎌倉時代後期に描かれた原本は国宝に指定されています。本資料は、寛政年間(1789～1801)に平戸藩9代藩主・松浦静山が江戸で模写させたものです。馬に乗った竹崎季長が元軍の兵士と戦う場面で、元軍が使用した武器「てつほう」も描かれています。



▲てつほう(松浦市教育委員会蔵)
元軍が使用した武器。球状で中には火薬とともに鉄や陶器の破片を詰め、爆発すると破片が周囲に飛び散りました。



蒙古合戦勲功賞神崎荘配分状
正応2(1289)年

武雄鍋島家資料(武雄市蔵) 武雄市指定重要文化財

弘安の役での活躍に対する褒美として、鎌倉幕府から武雄の後藤頼明に、神崎荘(現在の佐賀県神埼市付近)の土地の一部を与えることが書かれています。

EVENT 企画展講座

講師 金子 信二氏(佐賀県文化財保護審議会委員)

「武雄の荒踊」についてご講演いただきます。

開催 12月1日(日)
13:30～14:45

会場 武雄市図書館・歴史資料館
メディアホール

定員 25名 ※先着順

募集開始 11月6日(水)9:00～

申込み 歴史資料係(9:00-17:00)
Tel.0954-28-9105

